

飛散による事故防止

佐藤渡辺の石井社長
舗装現場パトロール

佐藤渡辺の石井直孝社長は15日、富山県小矢部市芹沢の国道8号で施工中の舗装工事現場を安全パトロールした。年度末労働災害予防強化期間の一環。本社の堂尻伸二安全環境部長や中日本支店の宮内友孝支店長らが同行し、安全衛生管理

活動と進捗（しんちよく）状況を確認した。

現場は「R4・5小矢部地区舗装その2工事」（国土交通省北陸地方整備局富山河川国道事務所発注）。交通渋滞を緩和するため付加車線を設ける。石井社長は「現場は現道を規制して施工している。現場内を整理整頓し、飛散による事故防止に努めよう」と指示した。

宮内支店長は「昼夜間の現道規制のため、一般通行車両や歩行者の目線で保安施設などの保守点検を確実にしよう」と呼び掛けた。北陸支店の高畑一幸支店長は「現場は繁忙期に突入し、

事故災害のリスクが高くなっている。安全への意識を今以上に高め、無事故無災害で工事を完成してほしい」と述べた。



現場をパトロールする石井社長（左から5人目）（佐藤渡辺提供）

